

想定される利用シーン

インフラ・建設系企業 保守、保全、調査など

様々な施設・装置などの故障状況・破損状況などを撮影し、位置情報・属性情報とともにセンターへ通知



被災状況調査業務など

地震、火災、水害などの被災現場状況の調査業務。または災害発生初動での状況報告ツールとしての活用

状況把握



復旧状況



市街・屋外施設の調査、マーケット情報収集など

建設会社、屋外広告会社などのマーケット情報収集ツール。流通企業の新規出店計画時の現場状況報告ツールなど



道路、河川、港湾など施設保守・保全業務など

道路や河川、港湾など公共施設の保守・保全業務への活用など

